

「宮城県高校生弁論大会に参加して」

優秀賞受賞
あきた総文2026(第50回全国高等学校総合文化祭)宮城県代表

校長先生をはじめとする多くの先生方にご指導や励ましのお言葉をいただいたおかげで、優秀賞を受賞することができ、感謝の気持ちで一杯です。私はこの弁論を通して、特に同世代の学生に、いつまでも未来を人任せにはしてはいけないということを伝えたいと思いました。有権者でなければ選挙や政治は自分に関係ないと言えるのか。大人がやってくれるだろうと無責任でいいのか。このような私の訴えを一人でも多くの人に届けようと、声に思いを乗せながら論じました。目に見えない人の思いや支え合い、そして未来と向き合おうとする気持ちが世の中を形作り、動かしていくのだと私は考えています。不安定な今の時代だからこそ、大人だけでなく、私たちのような学生も未来と真剣に向き合わなければいけません。国民全員が自分事として未来に目を向けていくことが、日本の明日を変える第一歩になるのではないのでしょうか。(1年6組 高橋和夏 鹿島台中学校出身)



～各部活動の活躍～

ソフトボール部

嵐をよぶ! 波乱の東北大会

古川高校ソフトボール部は、10月に青森県東北町で行われた東北高校選抜大会に出場しました。今回の大会は4チームでの総当たり戦でした。郡山北工業高校との試合では、前半はピッチャーのリズムが良く、バッティングでは繋ぐ打撃を意識して2回まで4対0でリードしていました。しかし、雨の影響でピッチャーのコントロールが定まらなくなり、守備での集中力も切れて、3回に大量失点をしてしまいました。その裏に2点を返すも逆転することはできず、6対2で大敗しました。この試合では、どのような状況でも集中力を切らさずにプレーすることの大切さを痛感しました。今後はこの経験を生かし、試合のために一生懸命練習しようと思います。応援ありがとうございました。(2年3組 ソフトボール部部長 千葉大慈 三本木中学校出身)

剣道部

県新人大会 宮城県制覇!!

11月7・8・9日に行われた県新人大会男子個人戦において、優勝することができました。



日ごろから熱心にご指導して下さった先生方、共に厳しい稽古に励んできた剣道部の仲間、そして日常生活の中で支えてくれた家族の存在があったからこそ、この結果に繋がったと感じています。中段から上段に変わり、思うようにいかず悩んだ時期もありましたが、周りの支えや励ましが力となり、自分を信じ、試合に臨むことができました。日ごろの稽古の中で、私のミスで浩文先生にタトゥーのような怪我を負わせてしまいましたが、他の部員と分け隔てなくご指導していただきました。浩文先生がいかに人格者で、寛大な心を持った人だと皆さんに伝わったと思います。これからも、応援して下さった方々に勝利の一本で恩返しできるよう、より一層稽古に励んでまいります。また、古高生として恥ずかしくないように文武両道で頑張ります。(1年2組 剣道部 杉澤陽希 古川東中学校出身)

写真左：県新人大会第2位 堀越大愛(2年2組 古川南中出身)、写真右：県新人大会優勝 杉澤陽希

☞速報です☞ 剣道部は、2月1日に行われた宮城県高等学校剣道選手権大会にて、男子は団体優勝(優秀選手賞：杉澤陽希)、女子は団体ベスト8(優秀選手賞：岩淵栞 2年6組 不動堂中出身)に入るなど、活躍をみせてくれました。

吹奏楽部

アンサンブルコンテストを終えて

1月に行われたアンサンブルコンテスト宮城県大会に「クラリネット五重奏」が出場し、銀賞を受賞しました。私たちにとっては難易度の高い曲への挑戦だったので、9月頃から練習を始めました。練習当初は不安もありましたが、沢山の人に支えられながら練習を重ね、地区大会を突破し県大会へ出場することができました。アンサンブルコンテストは、少ない人数編成のため一人ひとりの技術が大きく影響します。その中で評価を受けることは、自信に繋がり県大会へのモチベーションにもなりました。そして何より、意欲的に練習熱心な仲間と活動できたからこそ、最後までやり遂げられたと感じています。これからは、本大会を通して得た課題に向き合いながら、体調管理を徹底して、更に成長した演奏を届けられるよう一層努力します。(2年2組 吹奏楽部 只野夏希 岩出山中学校出身)

新生徒会長挨拶

生徒の皆さん、並びに本校同窓会をはじめとする関係者の皆様、平素より生徒会活動への格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本校生徒会執行部は、昨年10月に代替わりを行い、現在は1年生5名、2年生11名、計16名で活動しております。今年の生徒会執行部は、生徒一人ひとりが高校生活3年間に充実したものにするために、様々な機会を提供できたらと考えております。具体的には、JSBNキャリア教育プログラムを復活させようと考えています。こちらでは「私たちがなぜ勉強をしているのか」「将来何をしたいのか」など、将来を見つめなおす機会になればと考えています。また今年も定期戦5連覇がかかっています。定期戦は、学校の思いが一つになる行事です。生徒一人ひとりが何事にも全力で取り組めるよう、私たちも全力でチャレンジしていきます。今年も、生徒会執行部をどうぞよろしくお願いいたします。

(2年6組 生徒会長 志田朔大 古川中学校出身)



新応援団長抱負

想いを声に託す

この度、応援団長を務めることになった阿部花凜だ。私の抱負は「伝統」という言葉に頼らない応援をつくることだ。応援とは仲間の努力や挑戦を信じ、心を込めて支える行為だと考えている。応援練習は時に厳しく、時代にそぐわないと感じる人もいるだろう。しかしそれは、想いを声に託す場とも言える。その意義を知らずして形だけをなぞる応援では、古川高校の誇りは本当の意味で受け継がれていない。だからこそ私は、やらされる応援ではなく、自らの意思で行う応援へと変えていく。来年度の定期戦は本校開催となる。古高生一人ひとりの声と想いを一つにし、古川高校の誇りを胸に全員で勝利を掴みとろう。形だけの伝統ではなく、魂のこもった誇りにして次の世代へ受け継がれる応援団を築いていく。(2年5組 応援団長 阿部花凜 古川西小中学校出身)



貴重な体験in台湾

私たちは12月1～5日の5日間で、台湾の台北とその近郊に修学旅行に行ってきました。海外は初めての生徒がほとんどで、パスポートや異国の気温に合わせた衣服、プレゼント用の日本のお菓子など、入念に準備して臨みました。街を歩いただけでも見たことのないものに出会えて、新鮮な気持ちで台湾の文化に触れることができました。なかでも、とても良い経験になったのは実践大学での中国語講座や、南港高級中学での1対1での交流です。緊張もしましたが、英語で意思疎通を試み、最後には打ち解けて、国境を越えて友達をつくることができました。研修では、十份での天燈上げ、饒河観光夜市で食べた臭豆腐や小籠包、胡椒餅などの絶品料理、神様のデパートと呼ばれる龍山寺がとても印象に残りました。この修学旅行で私たちは一回りも二回りも成長することができました。(2年4組 修学旅行実行委員長(台湾) 安海涼正 涌谷中学校出身)



修学旅行を終えて

高校生活における一大イベントとも言える修学旅行。今年の関西方面の修学旅行では、平安神宮や北野天満宮、清水寺に三十三間堂などの観光名所を全員で巡ったほかに、大阪と奈良のコース別研修を行いました。大阪コースでは、海遊館や道頓堀、大阪城を訪れ、大阪ならではのグルメや雰囲気を楽しみました。また奈良コースでは、鹿との触れ合いや、薬師寺での面白くも感動する御説法を通して、奈良の伝統や文化に触れることができました。班別研修においても、事前に立てた計画をもとに、歴史ある寺社仏閣を見学したり、着物を着て街歩きをしたりなど、とても有意義で思い出に残る時間を過ごすことができました。このような、仲間との貴重な体験を通して得ることができた新たな学びや思い出を胸に刻み、今後活かしていきたいと思っております。

(2年1組 修学旅行実行委員長(関西) 庄子ほの香 松山中学校出身)

